

議会だより

ふなた

No.191
4年/7



発行：山形県舟形町議会
令和4年7月22日

5月臨時会・6月定例会・質疑応答	2P
議案の採決状況	4P
町政を問う 一般質問に8議員	5P
議会報モニターアンケートより	14P
議会活動	16P
えがったなあ・町民の声・編集後記	18P

舟形中学校2年生のトライワーク
表紙のことは 17Pにあります。

令和4年度一般会計補正予算

総額2040万円を補正

6月定例会は、7日から9日までの会期で開催され、8日の一般質問に続き、一般会計補正予算案、全議案を原案どおり可決しました。

令和4年度 主な補正予算

- ▽舟形町総合行政システム事業 …… 1010万円
(住民票及び印鑑登録証明書をコンビニエンスストアで取得できるようシステム改修に係る経費)
- ▽子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 … 359万円
(非課税等低所得の子育て世帯に対する特別給付金に係る経費)
- ▽水産業総務事業 …… 242万円
(河鵜^{カワウ}の食害防止対策資材及び運搬用機械器具の整備に係る経費)
- ▽感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 190万円
(感染症対策に必要な備品、消耗品の購入)
- ▽ふるさとづくり応援事業 …… 50万円
(ふるさと納税によるウクライナ支援募金の寄附額の増の見込み)

主な審議された議案

第3回臨時会

- 令和4年度舟形町生涯学習センター大規模改修工事請負契約の締結
(相手方・丸充建設株式会社)
- ロータリ除雪車の取得
(相手方・寒河江重車両株式会社新庄営業所)

6月定例会

- 令和4年度一般会計補正予算
- 令和4年度一般会計補正予算の専決処分の承認
- 令和4年度公共下水道事業特別会計補正予算の専決処分の承認
- 令和3年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告
- 令和3年度株式会社舟形町振興公社経営状況の報告
- 太折辺地に係る総合整備計画の変更

全議案の採決結果は4ページに掲載

質 疑 応 答

第3回臨時会

納入時期

議員 購入するロータリ除雪車の納入時期は、いつ頃の予定か。

地域整備課長 納入時期につきましては、令和5年3月10日を納入期限としております。コロナ関係、世界情勢関係で資材調達が難しく、令和4年11月の納入は無理だということです。



キャンプで賑わっている鮭川村エコパーク

下水道マンホールポンプ故障

議員 発注してから時間がかかるということだが工期は。

地域整備課長 5月23日に契約しております。ポンプのシャフト部分と軸受部分がドイツ製のため、ヨーロッパ情勢から調達までおよそ8か月かかることを確認しています。取付けと合わせ、令和5年3月17日工期で進めています。

テントサイトの活用

議員 鮭川村のエコパークのような、広い敷地と遊具で子供たちが遊べる施設をつくり、集客に取り組んではどうか。

町長 鮭川村は、グランピングやキャンプサイトの充実に力を入れています。若あゆ温泉のコテージ村には、場所的な制約があり実現できていないが今後検討していきたいと思っています。

学校給食の食材高騰

議員 このところの原油や食材の高騰が原因で、学校の給食費が他市町村では値上がりしている状況だが、町はどうか。

教育長 食材関係の品目の高騰状況を今調査している状況ですが、町としてはふるさと納税等を活用し、保護者の負担増とならないよう、支援してまいります。

子育て支援

議員 低所得者の子育て世代生活支援特別給付金275万円は、一人5万円で対象者は何人で、何世帯、年齢は何歳から何歳までなのか。

健康福祉課長 55名を対象にし、世帯数は33世帯です。対象年齢は0歳から18歳までで、20歳未満で障がいをお持ちの方も対象になります。

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をただすことです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。（本会議での持ち時間は一人40分）

あらさわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

6ページ

★1 高齢者支援事業の検証・更なる充実を



さとう ひろゆき
佐藤 広幸 議員

7ページ

★1 本町通りのドーザーによる除雪体制は



かなうち まさき
叶内 昌樹 議員

8ページ

★1 舟形町福祉避難所の取り組みは



いしやま かずはる
石山 和春 議員

9ページ

★1 救急医療情報キットの書換えの周知は
★2 町道の管理状況は



さいとう よしひこ
斎藤 好彦 議員

10ページ

★1 本町が目指す農業政策とは
★2 タブレット授業の取り組み方針は
3 北のゲートウェイの進捗状況は



かなうち とみお
叶内 富夫 議員

11ページ

★1 災害時における危機管理について



いとう きんいち
伊藤 欽一 議員

12ページ

★1 舟形中学校移転時期の予定は



おくやま けんぞう
奥山 謙三 議員

13ページ

★1 地域運営組織の現状と展望を問う
★2 舟形町受援計画策定状況は



一般質問に8人が登壇

町政を問う

- （一般質問掲載要綱）
- 一般質問本文への掲載件数は、2件以内で3件目はタイトルのみ掲載。
 - 本文の字数は、質問300字以内、答弁は500字以内のため、内容を要約して掲載。
 - ★マークのついた内容を一般質問本文へ掲載。

議案の採決状況

令和4年第3回臨時会 議案の採決状況		○賛成 ×反対 ㊤欠席 ㊤退席 ㊤除斥										採決結果
議案番号	議案名	1 叶内昌樹	2 荒澤広光	3 伊藤欽一	4 小国浩文	5 石山和春	6 斎藤好彦	7 佐藤広幸	8 叶内富夫	9 奥山謙三	10 八嶽太	
議案32号	令和4年度舟形町生涯学習センター大規模改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案33号	ロータリ除雪車の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

令和4年第2回定例会 議案の採決状況												
承認2号	令和3年度舟形町一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
承認3号	令和3年度舟形町国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第3号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
承認4号	舟形町税条例等の一部を改正する条例の設定についての専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
承認5号	舟形町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
承認6号	令和4年度舟形町一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
承認7号	令和4年度舟形町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
報告4号	令和3年度舟形町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※
報告5号	令和3年度株式会社舟形町振興公社経営状況の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※
議案34号	令和4年度舟形町一般会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案35号	太折辺地に係る総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案36号	舟形町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

*議長は採決に加わらない。 ※報告は採決を行わない。

◆令和4年第2回定例会 会期及び審議内容

※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施

会期	会議種別	午前（10:00～12:00）	午後（13:00～16:00）	傍聴者数
6月7日（火）	本会議	・町長行政報告 ・一般質問2名	・一般質問3名 終了後、各常任委員会	6人
6月8日（水）	本会議	・一般質問3名	・議案審議（承認第2号～承認第7号 報告第4号・報告第5号） 終了後、全員協議会	7人
6月9日（木）	本会議	・議案審議（議案第34号～議案第36号） ・閉会中の所管事務調査報告 終了後、広報常任委員会		4人



さとう ひろゆき
佐藤 広幸 議員

本町通りのドーザーによる除雪体制は 地域支え合い除排雪活動支援事業の活用を



ドーザーで残された雪を処理するのは大変な作業！

本町通りの除雪は、ドーザーで雪を道路の外側へ押すことで交通を確保していますが、押し雪は、沿線住民の皆様の自主的な努力により、流雪溝へ投雪して頂いており、住民の皆様のご努力、ご協力に感謝申し上げます。

道路除雪の目的は、歩行者及び自動車等が立ち往生することなく通行できることにあります。自助・互助・公助の考え方にあてはめれば、交通の確保は町の成すべき「公助」であり、住宅の出

入口や周辺の除雪は個人で対応いただく「自助」です。従いまして、現状どおり、常に路肩まできれいに除雪するには、ドーザー除雪と沿線住民による流雪溝への投雪の組み合わせが最も適当であると考えます。

個人の対応が困難な場合は、「地域支え合い除排雪活動支援事業」の取り組みをご検討いただければと思います。

また、排雪作業員による除雪は、雪がたまった時点での排雪作業という対応にならざるを得ないと考えます。

今後、超高齢化等、社会状況の変化で地域の取組が困難になる可能性も否定できませんが、すべてを町で対処することは不可能ですので、ご理解願います。

質問 今年の冬も大雪となり1月には豪雪対策本部が設置されました。本町通り（舟形1号線）のドーザーによる道路両側に寄せられた雪を地域住民が流雪溝に排雪する事が困難になりつつあるという、新たな問題が出てきています。

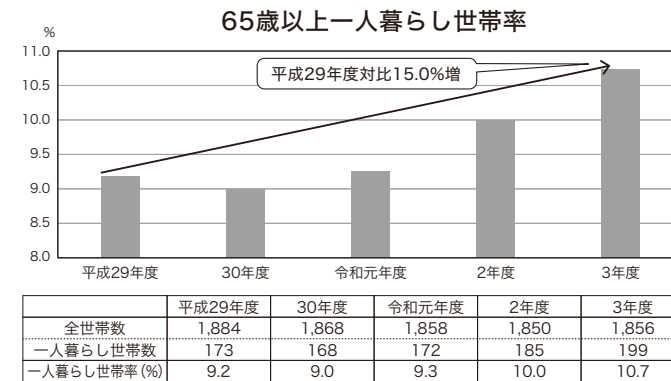
原因は、本町の人口減少による空き地空き家の増、高齢化、核家族化による排雪者の減少等があげられます。

解決策として、ロータリ除雪車による除雪や排雪作業員の確保等がある

町長 舟形1号線は、通勤、通学にも使われる町のメイン道路です。早急に排雪の問題に取り組むべきと考えますが町長の考えを質問します。



問題の多かった流雪溝の改修が進んでいる



年々増加する高齢者の一人暮らし世帯

町長 当町が高齢者支援に力を入れている背景には、高齢者が多いという現実があります。令和2年10月の高齢化率は42%で、令和3年10月ではさらに上がり42.4%ですが、私は常々、高齢化率が高いことは決して悪いことではないと申し上げております。

令和3年10月現在、90歳以上の町民は240人で65歳以上人口に占める割合は11.6%と管内で最も高いという結果でした。しかしこれは、舟形町民は長生きだから高齢者もたくさんいる、ともいえます。健康で長生きすることが町民の幸せではないでしょうか。

令和元年から「100歳元気プロジェクト」として、さまざまな健康づくりの支援、健康寿命の延伸に取り組んでいます。

社会福祉協議会が実施する「ふれあい宅配弁当事業」については、これまでも事業の役割や効果、取り組み方について都度協議している経緯があります。今のところ安否確認を主目的と考えておりますので、週1回の提供

を実施しておりますが、引き続き、利用者のニーズや、課題なども改めて検証しながら、民間事業者の活用も含めて検討し、より効果的な事業の実施とサービスの提供に向けて努力してまいります。

地域食材を使った愛情たっぷりの「ふれあい宅配弁当」

質問 本町の令和3年度末の高齢者一人暮らし世帯は199世帯で、全世帯の10.7%を占め、年々増加傾向にあります。町ではさまざまな高齢者福祉サービスを行っておりますが、主な事業の昨

年度の実績として、高齢者等除雪サービス事業は一人暮らし世帯の4割弱、週1回提供している、ふれあい宅配弁当事業は、年間736食を提供し、1回あたりの平均利用者は20人程度の実績です。

民間の事業者から理解、協力を得られれば温かい弁当を提供する回数を増やせると思います。



地域食材を使った愛情たっぷりの「ふれあい宅配弁当」



あらさわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

高齢者支援事業の検証・更なる充実を 民間事業者の活用を含め検討する



いしやま かずはる
石山 和春 議員

救急医療情報キットの 書換えの周知は

広報誌により徹底する



医療情報の早めの書換えを

【質問】 平成24年3月に配布した医療情報キットは10年が経過いたしました。当時は舟形町の救急搬送者は184名、内急病による搬送者が145名、全体の78.8%が自宅から搬送で、6年前も同様の傾向でしたが、現状を伺います。

9月9日救急の日を医療情報見直しの日として周知していると思います。また、現状を伺います。

た、転入世帯に対する救急医療情報キットの交付はされているのか伺います。

【町長】 救急搬送の件数や傾向は導入当時とあまり変わっておりません。キットについては、平成30年9月の広報誌で周知し、役場窓口にも転入世帯用として常備して配布の対応を行いました。しかしその後の継続した周知は

【町道の管理状況は費用対効果により最低限の維持修繕で対応する】

行っておりません。国の予算の割り当ても少なく、沿線住民の補償もありません。が、役場第二庁舎の解体は国との補償契約後となりますので、実施時期は未定の状況であります。来年度には事務室を移転し、その後は書庫等として使用しながら補償契約まで待つこととなります。



13号線から見る解体予定の老朽化した庁舎

【質問】 ネット時代の新しい文化や技術を生活に取り入れて、東北福祉大学とN.T.T.東日本が若者に人気の「eスポーツ」を活用し高齢者の健康づくりに役立つと実証実験が行われているようです。フレイル予防や認知症予防でも効果があるとなれば、新しいコミュニケーション手段になるのでは

ないでしょうか。福祉避難所の目的として、これまでの経過事業と今後の平常時にどのような事業を考えているのか伺います。

【町長】 常設の子育て支援センターとしての活用。他、「乳幼児健診・健康診断・母子保健事業・介護予防教室・防災避難訓練・防災研修会」なども行われました。今後については、これまでの活動に加えて、小学校低学年の居場所づくりや、町民の健康維持・増進のための事業や活動について検討していきます。

また「eスポーツ」の活用については実証実験経過等を注視していきたいと考えております。

【町長】 2級町道木友高倉山富田線は、全長2619.6mの路線です。以前は、舟形地区と富田・堀内地区を結ぶ重要な路線であったと思われます。自動車が交通の主流となり、長者原橋や富長橋が整備されたことに伴い重要路線としての役目を終えていることから、現在のところ全線を整備する計画はありません。今後、費用対効果を勘案しながら、整備の必要性について内部で検討してまいります。まずは最低限の維持修繕で対応してまいります。



荒廃が進む町道木友高倉山富田線



かなうち まさき
叶内 昌樹 議員

舟形町福祉避難所の取り組みは

平時は町民の健康増進や低学年の居場所づくりにも



YouTubeを活用し、楽しく健康体操

いと考えております。なお、今年度、子育て支援センターでは、長沢集学校の協力を頂き「スマホ講座フォトアレンジ」や親子で楽しめるYouTubeを使った「楽しく健康体操」といった事業も試験的に実施していき、まずは身近なアプリやデジタルツールを活用した取り組みについて考えていきたいと思っております。



かなうち とみお
叶内 富夫 議員

災害時における 危機管理について

避難訓練を実施し、災害に備える



昨年、福祉避難所「てとて」で行われた全職員対象の避難訓練

質問 近年、東日本大震災や熊本地震など、全国で自然災害が幾度となく発生し、大きな被害を受けています。当町においても、豪雨による河川の増水等で想定を超える被害が発生しました。来たる災害に備えて、防災センター、福祉避難所「てとて」を整備して

町長 災害時を想定した訓練については、全職員おりますが、災害時の活用に向けて避難訓練をすることで施設の機能が発揮できると思います。災害時を想定した訓練の内容と、災害時における災害復旧資材及び食料の備蓄状況をお伺いします。

を対象に毎年行っており、昨年は7月に行いました。内容は、大雨洪水警報及び土砂災害警戒情報が発表されたのを受け、非常招集訓練として、町の防災拠点である防災センターに町災害対策警戒本部を設置し、引き続き避難所開設訓練として、福祉避難所及び農村環境改善センターの避難所開設準備を行い、高齢者等避難を発令し各避難所に受け入れるものです。防災センター及び福祉避難所での訓練は完成後初めてでしたが、コロナ禍での訓練としては2回目であり、避難所入り口での検温や健康カードに記入する受付に時間を要したものの、マニュアルに沿って感染症対策をしながら避難所の開設と運営の手順について確認できたところで、指定避難所として、町では、生涯学習センター、舟形小学校、福祉避難所、中央公民館、富長交流センター、農村環境改善センターの6か所で

職員を配置し訓練を行っています。食料の備蓄については、生涯学習センターなどの各指定避難所に水や缶パンなど1日分を備蓄している状況です。食料以外にも必要最低限のものだけを備えているため、最低でも3日分の



避難所にある主な備蓄品

食料や常備薬、衛生用品のほか、各家庭で必要なものを話し合っ準備しておくことが大切です。



さいとう よしひこ
斎藤 好彦 議員

本町が目指す農業政策とは

多様な農業と儲かる農業の推進



農業散布はドローンにおまかせ!!

質問 コロナ禍による外食需要の低下により、コメの消費減に歯止めがかからず、二年連続の米価下落により農業継続が困難な状況になっていると思われま

町長 小規模稲作農家への支援策については、町独自に中古農機の導入や機械の共同利用を支援してきました。今後は経営強化のためにも組織化し法人化を目指して頂きたいと思っています。一方、大規模農家の作業の効率化については、圃場整備を推進しており、労働力不足を解消する対策は、ロボット技術やAI（人工知能）、ICT等を活用したスマート農業の導入が有効であり補助事業などの情報を提供していきます。本町としては、経営規模の大小や品目に関わらず、家族経営の小規

模農家における課題整理にむけた政策等町長の考えを伺います。

模農家から農業法人まで、さらには6次産業化など多様な農業の発展を図りながら儲かる農業を推進してまいります。

**タブレット授業の
取り組み方針は
情報活用能力の
育成に取り組む**

質問 子どもたちは、好奇心が旺盛で操作の習得も早くタブレットによる授業にも興味をもち面白いの声もあるようです。しかし、日々進化するICT環境が、多忙な教員のさらなる業務負担に繋がらないのかなど課題があると思います。今後のタブレット授業の取り組み方針等、町長の考えを伺います。

町長 本町では、児童生徒に1人1台のタブレット端末導入等の環境整備を令和2年度までに完了し、今年度は中学校でAI教材を導入し、テストや宿題をプリントの代わりにそのアプリ上で作成し、簡単に配信することが出来るなど有効に活用しています。

今後も、ICTを効果的に活用し、児童生徒一人ひとりの能力や特性に応じた指導等を充実させ、新たな価値を生み出していく力や、日々進化する情報や情報手段を選択し活用していくために必要な情報活用能力の育成に取り組んでいきたいと考えています。



タブレット授業はたのしいね!!



おくやま けんぞう
奥山 謙三 議員

地域運営組織の現状と展望を問う

構築と活動に支援やサポートを行う



支援による除雪活動

【質問】 少子高齢化さらには人口減少が進行する中、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域運営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する組織としての「地域運営組織」について、旧小学校区毎の現状と展望について質問します。

【町長】 現状については、地域運営組織の構築を対象とした旧4小学校区のうち、令和2年度に堀内地区に、令和3年度には富長地区に設立され、この2つの組織が「地区ビジョン」に基づいた活動を展開しています。特に有償除雪ボランティア事業については令和3年度において、2組織で8件の取り組みに広がっています。今後、地区町内会長会や地域の団体に集落支援員を加えながら舟形地区と長沢地区において検討を重ね、地域に合った地域運営組織の構築を目指していきます。町では引き続き、町内会活動はもとより地域運営組織の構築と活動に対して支援やサポートを行っていきます。

舟形町受援計画

細部について
早急に準備を進める

【質問】 大規模災害に備え、他の自治体からの応援職員受け入れ手順を定めた「受援計画」について、2011年の東日本大震災で混乱が生じたのを受け、2012年修正の国の防災基本計画において自治体による策定努力規定が盛り込まれました。当町における受援計画策定状況について質問します。

【町長】 国の調査上、舟形町は策定済み団体としてカウントされています。しかし本町では実際に外部からの支援を受け入れた経験がないため、外部からの支援を活かすための細部に対する計画につ



町民の安全安心が高まった防災センター



移転の時期を検討中の舟形中学校

【町長】 令和3年3月定例会答弁では、大規模改修は行わず、将来的に、移転する方針をお示ししているところです。

また、移転後の教育環境については、子供たちを最優先に考え、舟形町にあった方法をしっかりと検討してほしいと、教育委員会に指示しています。実質公債費比率は、令和2年度で13.4%です。今後令和6年度まで増加する見込みですが、第7次舟形町総合発展計画の短期アクションプランの目標値、16%よりは下回る14.2%を見込んでいます。

町では令和2年度に、劣化度調査や建物評価を踏まえた舟形中学校の個別施設計画を作成しており、財務省令の建物の減価償却率を算定する際に用いる耐用年数を参考に、中学校の耐用年数を47年、目標使用年数を80年としています。



いとう けんいち
伊藤 欽一 議員

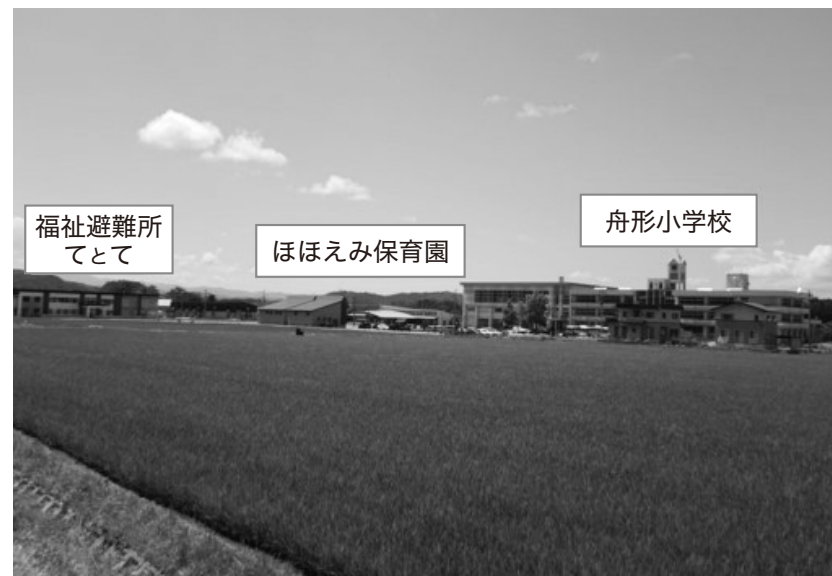
舟形中学校移転時期の予定は

移転時期は慎重に見極めたい

【質問】 舟形中学校については、平成30年3月定例会で大規模改修か移転かを質問しました。その後も中学校移転等については他の議員も質問しています。また、PTA役員や保護者の方もどうなるのか気にされています。

町長の答弁は、移転の方針を示していますが、移転するとの明確な答弁はありません。町の実質公債費比率が令和6年度にピークになるようで、数年間は厳しい財政状況下のようなのですが、新築から30年前後で大規模改修工事の検討が必要と、山形県県有建物長寿命化指針で示されています。中学校移転時期の計画を決定し、一日も早く教育環境を整えて頂きたいが、町長の考えを伺います。

町では令和2年度に、劣化度調査や建物評価を踏まえた舟形中学校の個別施設計画を作成しており、財務省令の建物の減価償却率を算定する際に用いる耐用年数を参考に、中学校の耐用年数を47年、目標使用年数を80年としています。



教育と福祉関係エリア（舟形ハリヨ地区）

◆議会活動について（20ページ）

- ・八杵議長の全国町村議会議長会 副会長就任おめでとうございます。益々の御活躍に御期待申し上げます。
- ・議会のうごきで1～3月迄いろいろしているとわかる。
- ・わかりやすいと思います。
- ・議会の日程などわかりやすい。

◆えがったやぁ、えがったなぁ、町民の声、編集後記について（21～22ページ）

- ・「赤ちゃんうまれてえがったなぁ」はいいと思います。
- ・自然豊かさを認めて頂きえがったやぁ。
是非遊具屋根付ベンチの設置を願いたい。
- ・かわいいイラストや、写真はほのぼのしてよいと思われる。
- ・「赤ちゃんがうまれてえがったなぁ」がたくさん増えるといいですね。
- ・知っている人が載っていれば、じっくり見たり、読んだりしています。知らない人だと、スルーしがちです。（すみません）
- ・移住してきた人の声など近くにこんな人がいると知ることができて良い。周りに赤ちゃんやがんばっている人がいると知れて良いと思います。

◆議会・町に対する意見等、その他

- Q2. 町内の横断歩道が消えかかっていて見えづらい所がたくさんあります。子供達もスクールバスから降りて毎日渡る所なので、安全のために、早めに対処してほしいです。
- ・こういう機会を受けじっくり目を通すことで議会活動等を知りました。今回一般質問できなかった議員様、次回頑張ってください。
 - ・思った以上に舟形町は進んでいると思うので、是非とも今後とも躍進してもらいたい。又一年よろしくお願いいたします。
 - ・モニター初体験です。わからないことがあると思いますが、1年間がんばります。よろしくお願い致します。
 - ・スーパーかドラッグストアができたらうれしいです。

モニターさんのご意見にお答えします

Q1. デマンドタクシーのサービスは、バスの運行がなくなり移動手段のない人たちには大切な足となっていますが、デマンドサービスの利用者はどのくらいいるのでしょうか。

A1. 令和3年度は、町内便2681名、町外便1748名の合計4429名の方が利用されています。



Q2. 町内の横断歩道が消えかかっていて見えづらい所がたくさんあります。子供達もスクールバスからおりて毎日渡る所なので、安全のために、早めに対処してほしいです。

A2. 横断歩道の塗り直しについては警察署（公安委員会）の管轄となります。春に横断歩道の塗り直しを要望しています。
（6月中旬一部完了済）



貴重な意見ありがとうございます。 議会報モニターより

今回は議会だより190号（4月22日発行）に寄せられた意見や感想を掲載しています。
いただいたご意見は十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。



◆表紙について

- ・春らしい、すてきな表紙だと思う。
- ・とてもいい写真だが、もっと多くの新一年生を見たかった。
- ・議会報として新鮮で新一年生を見守る保護者の方々がよく反映されていると思われる。
- ・入学式は4月と春の始まりらしく ほっこりします。
- ・微笑ましいですが、マスクをしておの入学式かわいそうです。いつまでマスク生活が続くのでしょうか。
- ・とてもいい写真だと思います。

◆定例会概要、質疑応答、特別委員会概要、質疑応答について（2～7ページ）

- ・駐車場の堆雪・雪国ならではの問題、でも安全確保を第一に願います。
- ・字の大きさ、項目の種類によって色分けの方法によって紙面に入っていけそうな感じがうかがえる。
- ・高校生医療費無料化は大変ありがたい。
- ・高校生の医療費給付方法が医療証を発行しての支払いシステムになると大変いいと思います。
（役場に行くととなかなか行けず終わってしまうことがあるので）
- ・保・小駐車場の排雪は、月1程度でお願いしたい。子供達の安全のために。見通しの良い道路を!!
- ・お金がどのようなものに使われているか分かって良かったと思います。

◆採決状況表について（8～9ページ）

- ・ロシアによるウクライナへの侵攻が早く終わりますように。
- ・今回全て賛成の〇だらけ。良いのか、悪いのか？
- ・採決する内容が多いのはわかるが、紙面を増やせないのか？文字が小さいと思う。
- ・コロナで集まりにくいとは思いますが、傍聴する人がもっと増えるといいです。
- ・反対意見もなく、すべて賛成になっていて議員みなさんの考えが一緒なのだと思う。
- ・議会でどのようなことが話あわれているかわかるので良い。

◆一般質問について（10～17ページ）

- ・消雪道路に関しては、車の運転もしづらく、何とか解決してほしい。
- ・是非観光戦略を1つでも実現して欲しい。又変革する時代に対応できる職員育成を願います。
- ・最初のページにて、登壇の大まかな紹介は良い。写真等をのせると問題意識が更に出てくる。

Q1. デマンドタクシーのサービスは、バスの運行がなくなり移動手段のない人たちには大切な足となっていますが、デマンドサービスの利用者はどのくらいいるのでしょうか。

- ・色々な課題がありますが、少子高齢化が進む中、デジタル化の推進に高齢者（特に1人暮らし）の方など、対応をどうしていくのでしょうか
- ・現在の問題点などがわかりやすくて良い。



読みやすい紙面づくりを学ぶ

**よりわかりやすい議会報を目指して
町村議会広報研修会（令和4年7月14日）**

山形国際交流プラザで開催された第39回町村議会広報研修会に参加しました。

議会広報サポーターの芳野 政明氏による研修では、前半に「住民に読まれ、伝わる議会広報の基本と編集」について、後半は県内7町村の広報誌についてのクリニック形式による研修が行われました。

今回の研修を通して、伝わりやすい紙面や見出し作成のポイント、町民参加の大切さ、町民の関心に沿った紙面づくりの大切さを学びました。

参考にすべき点を積極的に取り入れて、これからも町民の皆さんにわかりやすい紙面を目指し、努めていきます。

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

▼6月												▼5月												▼4月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
27日	26日	24日	21日	17日	10日	7日	5日	3日	2日	6月	31日	30日	24日	23日	22日	17日	13日	5月	29日	21日	19日	14日	8日	6日	1日	4月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

議会のつぎ

議会だよりふながたの
表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

■応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。

■問 合 せ：舟形町議会事務局 32-0030（直通）
gikai@town.funagata.yamagata.jp

表紙のつぎ

舟形中学校では2008年からトライワークを始めました。目的は、舟形町の産業を体験し、そこで働く人々との交流を通して舟形町の魅力を発見し、体験を通して、働く楽しさややりがいを知るためです。今年も舟中2年生44名がトライワークに参加しました。ひとりでも多くの生徒が、舟形町に残ってくれることを切に願っています。

次回の定例会は 9月6日(火)～14日(水) までの予定です。

産業振興常任委員会所管事務調査報告

町の独自性を強調した取り組みが必要

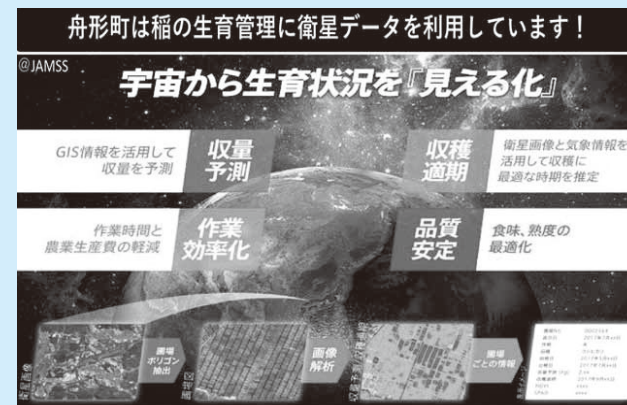
- 期 日 令和4年5月17日(火)
- 調査内容
 - 衛星を利用した舟形米ブランド化事業について
 - 事業の経過と成果（農業振興課より説明）

平成28年度から3年間、農家と民間事業者が農林水産省の稲生育管理システムの実証実験を活用したシステム開発に取り組み、現システムの基となる部分を作った。平成30年度から有人宇宙システム(株)を業務委託先として町独自のシステム構築に着手、令和元年度に稲生育システムが完成、運用を開始。農家への利用方法の説明会とマニュアル作成、スパット計測作業等を行いシステム改修及びスマートフォン用アプリを開発し、システムを利用しやすくしている。

令和4年3月末時点での利用農家数は46戸。
 - 今後の舟形米ブランド化戦略
 - システム運営及び改修
 - 情報発信
 - 利用者数の拡大
 - 舟形米のブランド化



衛生管理システムに関する動画 (Youtube) はこちら



舟形町の衛星管理システムの概要

施設が改善され、様々な情報発信が重要

- 期 日 令和4年3月15日(火)
- 調査内容
 - 大雪による被害状況について
 - 地域整備課所管

降雪、積雪による破損等の被害はなし
 - 農業振興課所管
 - 農業用ハウス（沖の原地区、福寿野地区）2棟
 - 牛舎（福寿野地区）1棟
 - 農作物分 うるい 11㎡
 - まちづくり課所管
 - 農村環境改善センター
 - ドレイン及びドレインヒーター 一部破損
 - 若あゆ温泉等管理施設の長寿化工事について
 - 工事概要
 - 清流センター全体の屋根改修・外壁塗装・鮎モニュメントの塗装
 - 機械室の新設及びそれに伴う電気設備工事
 - ボイラーの新設を含めた機械設備の改修、中間源泉貯湯槽の新設
 - あゆっこ村炊事場改修工事
 - あゆっこ村コテージ改修工事



新設された機械室内のボイラー

舟形町議会よりウクライナに寄付

5月13日、舟形町議会議員全員よりウクライナ緊急人道支援として集められた救援金10万円を、町長に手渡しました。町に寄せられた募金とあわせて日本赤十字社に寄付されます。





シリーズ

赤ちゃん
うまれて

えがったなあ

♥名前の由来は何ですか？

可能性を信じ、希望に満ちた希にしか送れない楽しい人生を歩んで欲しいという願いを込めました。また、「希」という字には明るいイメージがあるので、明るく元気で優しい子に育てて欲しいです。「まれ」というかわいらしい響きも名付けの決め手です。

♥舟形町での育児はどうですか？

自然がいっぱいで、散歩などで会うと温かく声を掛けていただき、地域の方に見守られながら育てていると感じています。

♥舟形町のいいところ・改善してほしいところは？

地域の方との交流が盛んな所がいいと思います。給付金や医療費無償など子育て支援が手厚く、すごく助かっています。

♥舟形町に望むことはありますか？

町内ごとに小さな公園があり、子供と楽しく利用していますが、古い遊具だと少し心配な時もあるので、新しいものにしていただけるともっと安心して遊ばせられるなと思います。

【お願い】「えがったなあ」に出てみませんか。

舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さん、その他「えがったなあ」に出てみたい方を募集します。

(連絡先) 舟形町役場議会事務局 ☎32-0030 (直通)



今回は、長沢の

加藤 亮さん・梢さんの

お子さんの希ちゃん(4ヶ月)です。

皆さんよろしくお願いします。

声

生産コストを削減し規模拡大

私は舟形地区に住んでおり、米作りとニラを生産している農家です。冬期間は舟形町の町道除雪オペレーターとして働いています。現在、コロナ禍の影響もあり「米価下落、肥料・資材の高騰」など、農家を取り巻く環境は著しく悪化しています。農業者の高齢化で「離農や担い手不足」による耕作放棄地が年々増加傾向にあり、山間部ではイノシシ等による被害も深刻です。ですが、農業は大変な反面とてもやりがいがある仕事です。

今後の目標は、生産コストを削減し、規模拡大を図り、耕作放棄地を出来る限り減らし、消費者に安心して食べてもらえる農産物を作っていきたいです。規模拡大をする上で第一に圃場条件が重要になってきます。

基盤整備事業を中心に、いまの子供達にも受け継いでもらえる魅力のある農業政策を考えていただき、未来のある舟形町になるように期待します。



ぬまざわ ふとし
沼沢 太 さん
(一の関)

(議会より)

将来に残せる魅力ある農業基盤確立のため、議会としても協力します。

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしております。

編集後記

県内では6月29日に統計開始以来で最も早い梅雨明けが発表され、夏の猛暑が懸念されます。

さて、2月下旬からロシアのウクライナ侵攻を機に食品を筆頭に値上がりが始まり、原油価格の高騰に伴うガソリン・電気・ガス料金の上昇等による材料価格高騰の影響は、学校給食にも及んでいます。本年度、舟形町では国の交付金やふるさと納税制度等を活用し、保護者に負担が生じない取り組みをしています。暮らしにおいても、税金は上がり、所得は上がらず、年金は引き下げられています。未来設計を見直す必要があるのではないかと思います。都会には感じられない裕福な田舎暮らしが出来ることを期待したいものです。

(叶内 昌樹 記)

発行責任者

議長 八 鍬 太
議会広報常任委員会
委員長 小国 浩文
副委員長 石山 和春
委員 伊藤 欽一
委員 荒澤 広光
委員 叶内 昌樹